





病院・社会福祉施設における転倒災害事例(平成26年発生分)
深夜勤務中に、アラームが鳴ったので詰め所を出て廊下を移動中、つまづいて転倒した。
厨房室で、鍋を持って、回転釜の置かれている淵を小走りで移動していたところ、足を踏み外した。この際、鍋の中身をこぼさないように転倒した。
廊下を移動していたところ、掃除後で廊下が濡れていて、足を滑らせて転倒した。
電話が鳴ったので、約5m離れた電話に出ようとして急ぎ足で移動していたところ、床が清掃中で濡れていて、足を滑らせて転倒した。
書類を取りに行った際、部屋の床の突起物に気付かずにつまづいて転倒した。
点検表の記入漏れに気付いたので、訂正しようと振り返ったときに、床の配線に足が絡まり、転倒した。
利用者をベッドから起こそうとした際、利用者から顔をたたかれ、足で胸を蹴られて床に倒れた。
床に転んでいた利用者を中腰ですって移動させていたところ、足がもつれて、抱きかかえたまま転倒した。
入浴介護のため、浴室に移動中、階段でバランスを崩して、階段を1段踏み外した。
配膳作業をしているときに、職員同士がぶつかりそうになり、のけぞるように回避しようとした方向にいた利用者を更に避けようとして、体をひねりながら後ろ方向に尻餅をつくように倒れた。
外から建物内部へ入る際、出入口の約3cmの段差につまづいて、転倒した。